

誰もが ヒーローになれる障がい者スポーツ

☎福祉課 ☎内線354

12月3日～12月9日は障害者週間です

今月号では、スポーツを通じて大磯町で障がいとともに向き合い、共に歩み続けている方にお話を伺いました。忙しく過ぎていく日々の中、今だけ少し足を止めて、地域で暮らす人々のことを共に考えてみませんか？

車いすバスケットボール

皆さんは車いすバスケットボール（以下「車いすバスケ」）をご存じでしょうか？このスポーツは、障がいをお持ちの方だけでなく健常者も参加できるスポーツです。

車いすバスケットボールの特徴



一般のバスケットボールではボールを保持した状態で3歩以上歩いてはいけませんが、車いすバスケの場合はボールを保持して車椅子を3回連続でプッシュするとトラベリングになります。また、車いすバスケにはダブルドリブル（ドリブルを止めた後に、またドリブルをはじめてはいけない）のルールがありません。選手には障がいの重い順に1.0～4.5までの持ち点があり、試合中の5人の合計点が14点を超えてはいけないと決まっているのが特徴です。チーム間の公平性を保ち、障がいの重い選手も活躍できるようにするための仕組みです。使用するコート、リングの高さ、ボールはすべて一般のバスケットボールと同じです。

大磯町内で車いすバスケを行っている湘南スポーツクラブと湘南西部スポーツクラブの方にお話を伺ってみました。



湘南スポーツクラブ

☎安藤 ☎w.shonansc@gmail.com

湘南スポーツクラブは神奈川県リハビリテーションセンターの医師、看護師、作業療法士、理学療法士、体育科職員の協力にて発足しました。センターを退院された方の定期的な身体活動の場、健康・体力の向上を図る場として七沢スポーツクラブを創設し、平成16年湘南スポーツクラブと名称変更し、現在に至っています。

日本車椅子バスケットボール連盟に登録を行い、大会に出場。車いすバスケの体験会や福祉の授業を県内小学校、中学校で積極的に行っています。

国府中学校で毎週水曜日、19時から21時まで練習を行っていて、随時見学募集をしています。



湘南西部スポーツクラブ

☎安藤 ☎w.shonansc@gmail.com

「年齢や障がいの有無に関わらず、誰でも車いすバスケを楽しめるクラブを作りたい！」そんな思いで車いすバスケを広めるため、大磯で活動をしている団体があります。団体の方にお話を伺いました☎

Q なぜ大磯で車いすバスケをはじめようと思ったのですか？

A (湘南スポーツクラブの) 普段の全体練習では厚木や平塚で行っているのですが、始めたばかりの若手が参加するには少しハードルが高くなってしまいます。そこで、基礎を学ぶ場が必要だと思い、練習場所を探し始めました。国府中学校は代表の出身校であり勝手がわかっているのと、インターから近いので参加者が集まりやすい点に加え、車いすバスケをやるのに欠かせないバリアフリーになっている体育館だったので大磯でやることを決めました。

湘南西部スポーツクラブホームページ



Q 身体（特に下肢）に障がいがある人のスポーツというイメージだが？

A 健常の方も参加できます！
車いすバスケでの車いすは障がいがあるから車いすを使っているのではなく、スポーツをするのに必要なもので、バスケットシューズを履く感覚と同じなんです。
なので、身体障がいだけでなく、発達障害のあるお子さんもいます。最初は体育館に入ることも難しかったのが、作業療法士の工夫で徐々に入れるようになっていきました。また、脳性麻痺のお子さんも車いすバスケをすることで楽しみながら体幹が鍛えられ、今では皆試合に出られるようになり、大活躍です。



Q 今後の目標を教えてください。

A パラスポーツ体験会をとおして色々な人に車いすバスケや他のパラスポーツを知ってもらい、楽しいことを知ってもらいたいです。きっかけはこの体験会で、その後ボッチャなど他のスポーツの楽しみを知って、そちらで活躍している人もいます。パラスポーツのいいところばモノ”どルール”を工夫することで誰もが同じ土俵に楽しむことだと考えています。

キャプテン自身が障がいからひきこもりの時期を経験し、車いすバスケが外の世界に出るきっかけとなりました。同じように外に出られない人にも知ってもらいたいです。

皆様のご参加、
心からお待ちしております!!

